

8 取り付け後の確認

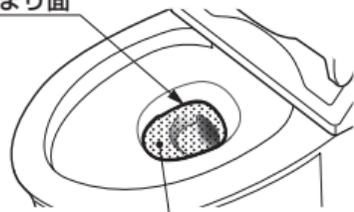
- ・ 止水栓を開けて大洗浄をしたあと、水たまり面の状態を確認する。
 - ・ 2～3度洗浄させて、便器・タンク内外への水漏れや洗浄状態などの異常がないことを確認する。
- ※洗浄した際、約1分程度水が流れます。止水不良ではありません。

正常な状態

設定変更は不要です。

(設定を行うと、洗浄不良になる場合があります)

正常な水たまり面



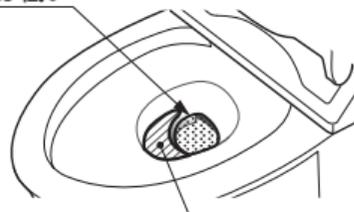
この面まで水がたまっている

水たまり面が低い状態

設定変更を行ってください。

(水たまり面を正常な状態にすることができます)

水たまり面が低い



この面(斜線部分)まで
水がたまっていない

設定変更の仕方は「 水たまり面が低下する場合の
対応方法」をご確認ください。

〈水たまり面の判断に迷ったときは…〉

ペットボトルやバケツなどで徐々に水を足し、水たまり面が上昇しない場合は正常です。

※水たまり面が低いと汚物付着の原因になります。

排水管に曲がりが多かったり、通気が不十分だったりすると、水たまり面が低下する場合があります。

11 水たまり面が低下する場合の対応方法

① 止水栓を閉めて給水を止める。



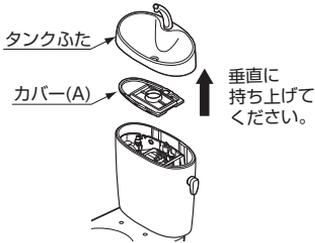
動画を見る

施工手順

<http://su.toto.com/csfrdo18>



② タンクふたとカバー(A)を外す。



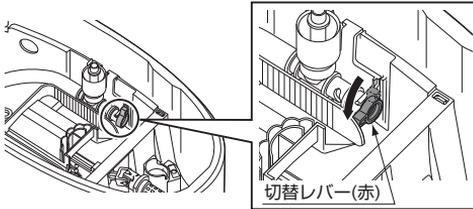
注意



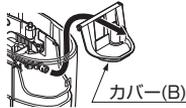
必ず実行

タンクふたは落とさないように注意する
破損してけがをするおそれがあります。

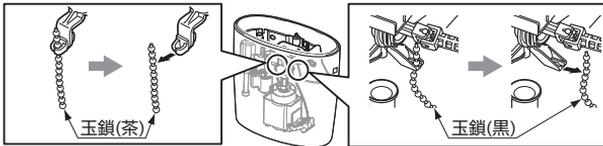
③ 切替レバー(赤)を手前に90° 倒す。



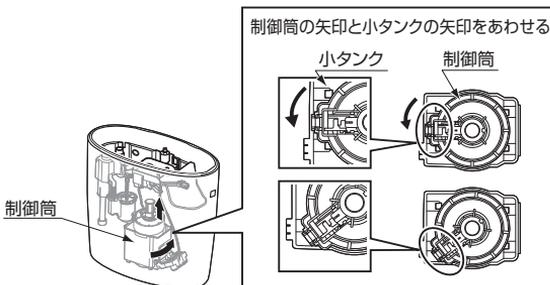
④ レバーハンドルを取り外し、
カバー(B)を取り外す。



⑤ 玉鎖を外す。



⑥ 制御筒を反時計回りに回して外す。



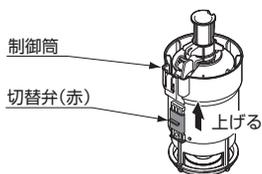
注意

制御筒の取り外し時に樹脂タンクに傷をつけないようにしてください。

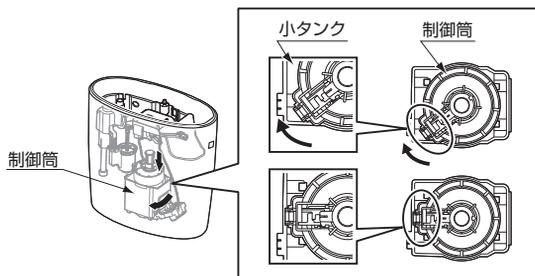
次ページにつづく ➡

11 水たまり面が低下する場合の対応方法 (つづき)

- ⑦ 制御筒横の切替弁 (赤) を上げる。

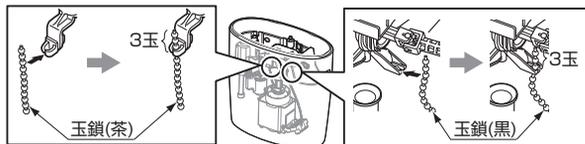


- ⑧ 制御筒を時計回りに回して取り付ける。



- ⑨ 玉鎖を3玉余して取り付ける。

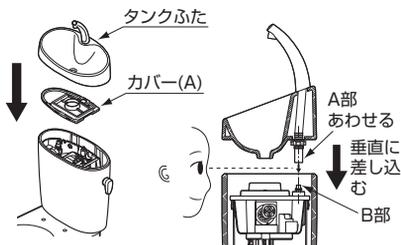
正しく取り付けないと止水不良になります。



- ⑩ カバー(B)とレバーハンドルを取り付ける。

- ⑪ カバー(A)とタンクふたを元に戻す。

※タンクふたが浮いていたり、ぐらつく場合は、差し込みが不十分ですので、再度差し込み直してください。



⚠ 注意



必ず実行

手洗い付きの場合、A部をB部に必ず差し込む

確実に差し込まれていないと水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

- ⑫ 取り付け完了後の確認をする。

- ・ 止水栓を開け、2~3度洗浄させて、便器・タンク内外への水漏れなどの異常がないことを確認する。
- ・ 正常に洗浄するか確認する。
- ・ 洗浄終了時、水たまり面が低下していないことを確認する。